

# JESC-INFO

2025年

6 月号

本内容に関する問合せ先：  
一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課  
TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

改めまして

## 日本環境衛生センターのご紹介

—環境に連なる幅広い分野で、最前線を走り続ける組織です—

日環センターは昭和29年に創立しました。当時は、川に生活ごみを捨てたり、し尿を流したりすることもあり、戦後生活が豊かになるにつれごみが増え公衆衛生の悪化が進んだ時代でもあります。

当センターはその時代背景の中、蚊とハエのいない生活を目指した普及啓発活動をスタート。その後、環境問題は次々と変化、複雑化し、現在では地球的規模にまで拡大しています。当センターは、環境分野での先駆けとしての矜持を胸に、創立当時から住みよい豊かな生活環境を目指し、様々な活動を行っています。



主に5分野での業務運営や支援を行っています

国際

廃棄物処理

環境生物・  
住環境

環境保全

サステナブル  
社会

🗨️ 具体的な業務内容は以下にご紹介！

## 「最近耳にする環境問題」へ取り組む自治体・企業への支援

環境生物  
・住環境

ペストロジー※  
実習講座の開催。

マダニやトコジラミ等、  
衛生害虫実物を実際に顕微  
鏡で見いただきます。



衛生害虫の飼育室。  
サンプル等に使用しています

※Pestology. Pest + logyの合成語で  
「ペスト(害虫)を研究する学問」。

環境  
保全

河川ごみのマイクロ  
プラスチック量や

組成などの実態把握調査  
に併せて、ごみ発生抑制  
対策を実施しています。



河川ごみの実態把握調査（福  
岡県）。水中のマイクロプ  
ラスチック量は環境への影響が  
懸念されています。

サステナ  
ブル社会

工作物石綿事前  
調査者講習の

開催。令和8年1月1日か  
らの施行に対応した新講  
座を開講中です。



同講習の様子。ご好評につ  
き全国各地で開催していま  
す。その他石綿関連講習や  
廃棄物関連講習も開講中。

廃棄物  
処理

# 廃棄物処理分野の政策策定や 施設整備・運営まで幅広くサポート！

— センターが得意な5つの業務をご紹介します —

## 1. ごみ処理の広域化・集約化計画策定業務

持続可能な適正処理の確保に向け、令和5年6月に改正された廃棄物処理法に基づく基本方針と令和6年3月の環境省通知を踏まえ、上記計画策定を行う自治体を当センターが支援しています。



最近の  
実績

- ・「秋田市ごみ処理広域化検討支援業務委託」
- ・神奈川県「ごみ処理に係る長期広域化・集約化計画策定業務等」
- ・龍ヶ崎地方塵芥処理組合「ごみ処理広域化に向けた基礎調査業務委託」

## 2. 最終処分場など処理施設建設に係る発注者支援業務

「最終処分場の建設が数十年来や初めて」という自治体では、職員や技術者、発注者に業務経験者がいないこともあります。また処分場の建設は、一般的に定型業務として発注されますが、定型業務ではカバーできない場合や業務設計の困難な非定型実務でお困りの自治体もあり、当センターで手厚くサポートしています。

### 当センターに発注するポイント・魅力👍

これまでの多数な実績を生かし、廃棄物処理の窓口としてワンストップでの包括的な技術支援が可能です。

## 3. 汚泥再生処理センター建設工事に係る設計・施工監理業務

計画の工事内容が適正に実施され、所定の性能、安全性および維持管理の容易性を有した施設となるよう、自治体の監督員を補佐・助言します。

最近の  
実績

- ★し尿・汚泥再生処理施設の整備・運営に関する支援を全国各地で実施しています！
- ・川越市における汚泥再生処理施設整備に関する支援業務
- ・茨城県央環境衛生組合「新処理施設整備基本計画策定等業務」

## 4. 「産業廃棄物等実務管理者講習」の開催

年3回2日間のオンライン講習を実施しています。受講により自己研鑽はもちろん、経験豊富な講師へ質問や相談ができます。

### 日環センターで受講するポイント・魅力👍

当センターは、廃棄物関連書籍の出版および講習を行う部門から、コンサルとして国内外の現場に立つ部門まで、廃棄物処理への多角的な視野・実績があります。関連の業界ネットワークも強固です。各国・自治体の一様ではない事情でお困りの場合もぜひご相談ください。

★日程・申し込みは最後のページへ！

## 5. 環境省の委託事業－エネ特事業など－

日環センターが受託する環境省事業は複数ありますが、廃棄物分野における脱炭素化等の検討に関する事業も受託しています。脱炭素化に関する検討においては、一般廃棄物処理分野の資源循環に向けた調査や施策検討支援などを実施しています。

# 日環センターの環境への取り組み ー水・大気環境保全、諸外国への環境協力などー

環境  
保全

## 環境測定分析統一精度管理調査の実施

環境省委託の外部精度管理を昭和50年度から毎年度実施しています。当センターは、①約500の全国の環境測定分析機関に共通試料を配付・分析依頼、②①の結果報告をとりまとめ専門家に解析依頼、③解析結果を500の分析機関にフィードバックし、環境測定分析の信頼性の確保及び精度の向上と分析機関の測定分析能力の資質向上を図っています。公定法の改定や見直し等にも当調査が有効利用されており、国内の精度管理調査の中でも有数です。

★本事業は下記に掲載されています。

<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>

環境  
保全

## PM2.5・光化学オキシダント総合対策検討業務

国の環境保全政策の支援や、信頼性の高い環境モニタリング技術確立のため、科学的知見による評価や解析に取り組んでいます。表題の業務は環境省が策定した「光化学オキシダント対策ワーキングプラン」に資する業務で、各濃度調査や現況総括、近年の傾向解析等を行いました。引き続き、環境保全政策決定のための国や自治体及び研究機関との連携協議を進めます。



国際

## 環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進のための研修企画・運營業務」の遂行



日環センターでは、環境省の基本方針や国際循環産業の海外展開支援の動向を注視し、平成23年度から表題の研修事業を継続的に受託・実施しています。本研修は、途上国の廃棄物管理の中央政府・地方自治体の行政官等を招聘し、日本の廃棄物処理・リサイクル政策および廃棄物処理技術についての理解を深め、課題解決に資することを目的とし、循環産業を含む環境インフラの海外展開を推進しています。

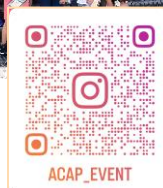
国際

## アジア大気汚染研究センター（ACAP）

アジア地域の大気汚染の現状や対策を目的とし、東アジア地域の13か国で構成する東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）における技術的支援を行うネットワークセンターを務める他、越境大気汚染問題に関する調査研究を行っています。また、小学5年生～中学生を対象に小中学生向け訪問体験型プログラム「ひらめき★ときめきサイエンス」を行うなど、環境学習へも注力しています。

ACAPの一般公開情報など、Instagramでご紹介します。

★近日公開予定です。ぜひ右からフォローしてください♪



## ごみの分別収集区分や資源化に関する手引きの改訂

環境省委託「令和6年度廃棄物処理システムにおける脱炭素省CO2対策普及促進方策検討調査委託業務」では、同省が平成19年に策定した「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」の改訂検討を行いました。上記、一般廃棄物処理システムの指針は、国から市町村へ標準的な分別収集区分や資源化方法等の技術的助言を行うものであり、脱炭素化や資源循環の促進といった廃棄物処理システムを取り巻く社会情勢の動向等を考慮し、標準的な分別収集区分及び適正な循環的利用・適正処分の考え方について諸般の改訂が今年3月に行われました。

★指針理解にお役立てください

- ・ 環境省主催説明会 [https://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=36954](https://jsmcwm.or.jp/?page_id=36954)
- ・ システム指針 [https://www.env.go.jp/recycle/waste/tool\\_gwd3r/gl-mcs/index.html](https://www.env.go.jp/recycle/waste/tool_gwd3r/gl-mcs/index.html)

## 廃棄物処理施設建設工事等の入札・契約の手引きの改訂



今年3月、環境省が平成18年7月に公開した手引きが改訂されました。今回の改訂に際し、近年の建築費高騰への対応（非価格要素評価項目の見直し）やDBO事業の増加に伴う発注手法の選択について、民間事業者からの提案を引き出す工夫など、日環センターが検討した内容も掲載されています。

★手引きは下記に掲載されています

[https://www.env.go.jp/press/press\\_04613.html](https://www.env.go.jp/press/press_04613.html)

## その他、関係各社・団体との連携、表彰等

- ・ 4月11日－13日、第77回日本衛生動物学会大会に参加し、研究発表を行いました。
  - \* 発表者 環境生物・住環境部 橋本知幸部長
  - \* 内容 トコジラミとネッタイトコジラミの行動の違いについて
- ・ 5月27日－30日、ペストコントロール技術者養成講座開催し、第43期スクーリングを実施しました。
  - \* （公社）日本ペストコントロール協会との共催講習です
- ・ 5月28日、（一社）環境衛生維持管理協会（JEMA）とし尿処理分野での交流会を開催しました。
- ・ 5月30日、廃棄物資源循環学会にて、藤原周史理事が「令和6年度学会賞・有功賞（活動部門）」を受賞しました。

講習会日程/書籍販売

廃棄物関連講習会



生活衛生関連講習会



石綿関連講習会



書籍販売



## information

### ● 産業廃棄物等実務管理者講習 ●

適正処理推進担当者の実務知識習得にぜひご受講ください。

- |     |                        |             |
|-----|------------------------|-------------|
| 第1回 | 2025年 6月 3日(火)・ 4日(水)  | 13:30～16:30 |
| 第2回 | 2025年 9月17日(水)・ 18日(木) | 13:30～16:30 |
| 第3回 | 2026年 2月17日(火)・ 18日(水) | 13:30～16:30 |

産業廃棄物等実務管理者講習

検索